



令和4年度入学式

8日(金)に第77回入学式が行われました。普通科159名、教養理学科40名の新生が入学を許可され、海南高校の一員となりました。



川久保校長は「皆さんはいくつかあった選択肢の中から、最終的には自分で決心し本校への入学を志したはずです。これから先も自分を取りまく環境や社会情勢のなかで自信をもって物事を判断するためには、自分の中に確固たる判断基準をもつ必要があります。その基盤となるのは学習や経験の積み重ねです。」と述べ、「本校は平成16年に文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の研究指定を受けて以来、18年間科学技術人材の育成を目的として様々な研究開発事業に取り組んできました。この4月から認定枠のSSHとして5年間の指定を受け、これまでの取組をブラッシュアップすることになりました。また、今年から始まる新しい教育課程では文系、理系ということに関係なく『探究』をキーワードとして学びを深めていきましょう。」と激励を込めた式辞を贈られました。

また、新生を代表して浦上 栞さんが宣誓を行い、厳粛な雰囲気の中に入式が終了しました。

離任式

5日(火)、人事異動で転出される6名の先生方との離任式が行われました。転出される先生方から沢山の思い出話や、心のこもった励ましのお言葉をいただき、お互いに別れを惜しましました。

令和4年度がスタート

8日(金)、体育館において新任式と始業式が行われ、令和4年度が始まりました。

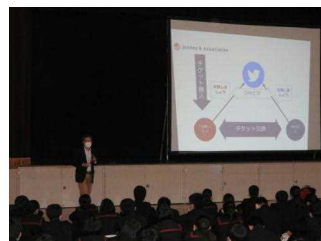
また、今春の人事異動により6名の教職員が本校に着任されました。職員一同、海南高校生を精一杯支援していきます。

《着任された教職員》

松阪 真弓(地歴 和歌山工業高校)
 林 好美(数学 和歌山北高校北校舎)
 石原 由美(家庭 向陽高校)
 湯川 徳之(音楽 県立学校教育課)
 児玉 侑大(英語 新卒)
 村上 聖太(事務室 県立学校教育課)

1年生 情報モラル講演会

スマホやゲームへの「依存」が高まるとどうなるのか。健康や学習、人間関係への影響、つながり依存、ゲーム障害など、多くの悪影響が懸念されています。



25日(月)7限、和歌山IT教育機構の佐々木哲氏を講師にお迎えし、1年生を対象にネットモラルやネット詐欺の実例などについて学習する情報モラル講演会を開きました。

5月の予定

- 2日 1年 加太臨海実習
- 2・3年 遠足
- 6日 クラスマッチ
- 9日 第2回公務員模試
- 10日 1学期中間考査発表
- 16日 遊歩道交通指導
- 17日 1学期中間考査(～20日)
 静波会総会・保護者進路説明会
- 20日 1年 講演「熱中症について」
 3年 講演「いのちの大切さ」
- 21日 第1回看護医療模試
- 23日 教育実習開始・高校総体壮行式
- 24日 生徒総会